



①バサースト市長表敬訪問

飯山市国際交流事業

バサーストハイキャンパス訪問

飯山市教育委員会（城南中・城北中）と飯山高校は、平成26年11月にオーストラリア・バサーストハイキャンパスと姉妹校協定を締結しています。

本年10月には、バサーストハイキャンパスとケルソーハイキャンパスの学生が、城南中と城北中の生徒宅へホームステイをしながら、両中学校の学校活動に参加するとともに、休日は飯山の自然を楽しむなど、学校と家庭とで友好を深めました。

今回、11月23日から30日まで飯山市から中高生10名が、バサースト市長表敬訪問と両キャンパスを訪問。

生徒たちは再会を喜び、バサーストハイキャンパスでの授業参加やケルソーハイキャンパスでの農業授業見学等を通じて、さらに友好を深め、また南半球の自然やオーストラリアの文化など多くの事を体験してきました。最初は戸惑っていた生徒たちも、授業では、考えや気持ちを伝えようと会話に挑戦し、真夏のクリスマスを体感し、世界遺産であるオペラハウス見学や、広大な地での乗馬体験など、有意義な時間を過ごせたとです。

市教育委員会では、生徒たちがグローバルな視点で多くの地域について興味や関心を持ち、見聞を広め、異文化理解を深められるよう、国際交流を進めていきます。



②乗馬体験



③南半球のクリスマス



④授業参加風景



⑤休み時間等の交流

学校・保育園適正規模等検討委員会

委員会では、7月からこれまで、PTA役員など21名の委員により、前身の保育園・学校課題検討委員会の答申を踏まえ、現在の児童生徒数や将来推計、施設状況・通学方法等を確認しながら、子どもたちにとっての、より良い教育環境の検討を続けてきました。

第3回（10月）および第4回（11月）委員会では、飯山市学校・保育園の適正規模や配置等について具体的な内容が検討され、次のような方向性が示されました。

小中学校いずれも、各学年、複数学級が望ましい。そのため、小学校各学年いずれも36人以上が必要であり、将来的に統合が必要である。

これまでの議事録と資料は飯山市ホームページで公開しています。今後、答申案をまとめ、令和2年1月中旬に委員会としての答申が予定されています。



ゴールの飯田合同庁舎前で

大会2日目8位と大健闘!! 飯山栄チーム 12位

長野県縦断駅伝競走大会
総合成績 12位 (12:32:19)
1日目 13位 2日目 8位

11月16日、17日の2日間、長野県の北から南まで22区間をタスキでつなぐ第68回長野県縦断駅伝競走が開催されました。飯山栄チームでは、若手、ベテラン選手がそれぞれの持ち味を發揮し、大会2日目は、全体8位を記録するなど、今後さらなる上位を期待できる結果となりました。

総合順位は歴代最高順位に並ぶ12位で大会を終え、今大会から初の試みとなるケーブルテレビでの生中継も行われました。市民の皆様の温かいご声援ありがとうございました。



縦断学習シリーズ

児童虐待、自分でできる支援を

飯山市人権同和男女共同参画地域推進員会長
田中 妙子

2018年3月東京都目黒区の5歳児 船戸結愛（ゆあ）ちゃん、2019年1月千葉県野田市の10歳児 栗原心愛（みあ）さん、2019年8月鹿児島県出水市の4歳児 大塚璃愛（りあ）ちゃん。いずれも親等の大人からの虐待を受け、「お父さんゆるして」「先生なんとかしてください」と大人たちに助けを求めたにもかかわらず、痛みと不安と恐怖の中で、短い命を絶たれました。3人の名前には「愛」という文字が使われ、生まれたときには、両親からこよなく愛されていたことが想像されます。

かつて、まだ「児童虐待」という言葉が世の中に流布していない頃、私はある中3の女子生徒を指導しながら、私の言葉が宙をさまよひ、生徒の心に染みていないことに気付き、「この生徒もいずれ母親になる時が来るだろうけれど、

果たして自分の子どもに仕上げや注意をするとき、どんな言葉がけをするのだろうか」と不安になったことを覚えています。

理化学研究所の調査では、児童虐待により有罪判決を受け服役した親の72%は子ども時代に虐待を受けていたそうです。さらに、親本人が精神的問題を抱えるケースや、子どもに健康発達の問題があり、子育てが難しい環境におかれていた事例も目立つという事です。

児童虐待に対して加害者を罰するだけでは不十分で、加害行動をなくするための治療や支援が必要です。加害者の育ちや人となり、虐待の経緯や原因などの情報が公開され、それらを参考に自分ができる支援のあり方に気付き、日頃から身の回りに目を向け、情報をキャッチし、治療や支援につなげる努力をしたいものです。